INFORMATION MAGAZINE THE JOURNAL

ザ・ジャーナル!!

Vol.16
No.1
2021.6

National Hospital Organization Okayama Medical Center

やさしさ便り～国立病院機構岡山医療センターの今

地域災害拠点病院
地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院
総合周産期母子医療センター

岡山医療センターの理念

今、あなたに、信頼される病院

－病める人への献身、
医の倫理に基づく医療への精進と貢献－

1:医学的根拠に基づいた高度で良質な医療を提供します
2:病める人の権利と意思を尊重した、安心安全な医療を提供します
3:地域の中核病院として医療連携を通じ、地域社会に積極的に貢献します
4:教育研修病院として医師、看護師等医療に従事する人材育成に努めます
5:医学の進歩に貢献するために、臨床研究を積極的に行います
6:職員が仕事に誇りと充実感を感じられる病院作りをめざします
7:上記6項目を実現し維持するため、健全な病院運営に努めます

CONTENTS

2 副院長、統括診療部長　新任ご挨拶
3 特集:病理診断科
4 特集:麻酔科
6 特集:新型コロナウイルスワクチンの副反応について
8 特集:がんゲノム医療が始まりました
9 医療安全レポート
10 肺がんに対する★ピンポイント照射★を始めてます!!
11 健康レシピ「免疫力を高める腸活レシピ!」
12 診療看護師(Nurse Practitioner: NP)の紹介
13 カンボジアからの小児肝臓がんの乳幼児2人が治療を終えて退院しました
14 初期研修医通信／薬だより
15 「岡山キワニスクラブ」について／臨床研究推進便り
16 看護助産学校通信
17 環境整備室だより
18 たまにはクラシック
19 連携医療機関の紹介／金川病院だより
20 レストランとパン屋が変わりました!

表紙写真 『Mammal Faces(哺乳類の顔)』

岡山医療センター
ホームページ

新任ご挨拶

副院長　松原　広己

令和３年４月１日付で独立行政法人国立病院機構岡山医療センターの副院長を拝命致しました、松原広己です。誌面をお借りして、一言ご挨拶申し上げます。私は岡山大学の出身で、当院には平成15年５月、循環器科（現　循環器内科）医長として着任し、平成22年からは臨床研究部長を併任してまいりました。この間、自身の専門である肺循環疾患を中心に、循環器領域の診療と研究に注力してまいりました。平成31年からは統括診療部長として勤務させていただき、仕事の軸足を徐々にマネジメントへとシフトさせようという矢先、コロナ禍に見舞われ、院内をコロナフリーに保つ一方で、通常診療を極力維持するべく尽力してまいりました。幸いにしてこれまで院内感染による患者さんのコロナ感染例を出すことなく診療を継続してこられましたことは、職員はもちろん、紹介医や患者さん皆様のご協力の賜物であることは言うまでもありません。

医療関係者のワクチン接種が進む一方で、巷では第４波が到来し、岡山県下でも連日100名を超す新規コロナ患者が発生しております（2021年５月時点）。当院の理念であります「今、あなたに、信頼される病院」であり続けるためには、引き続きコロナ院内感染を予防しつつ、通常診療機能を維持し続けることが最も重要と考えております。現況を鑑み、より厳格な予防策や一部診療機能の縮小が必要となってくることもあろうかと思われます。皆様には不自由を強いることもあろうかと存じますが、なにとぞご理解の上引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

統括診療部長　太田　徹哉

令和３年４月１日付で、統括診療部長を拝命した太田徹哉です。現在、東広島にある国立病院機構中国四国グループの医療担当参事を併任しており、今年度は２足の草鞋（わらじ）を履きつつ業務をこなしてまいります。何かと至らない点が多いかと思いますが、皆様にはご支援ならびにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私は、岡山医療センターの前身である旧国立岡山病院で生を受けました。山内逸郎名誉院長が主導された「母乳で育てる活動」の恩恵を一身に受け、当時住んでいた岡山市南方の地でやんちゃな幼年時代を過ごしました。平成16年５月に岡山大学医学部第二外科教室から岡山医療センターへ赴任した後、消化器外科とりわけ専門の肝胆膵外科手術に邁進（まいしん）するとともに、教育研修部長として初期臨床研修のサポート及び院内の教育研修活動に尽力してきました。外科医として引き続き日々の診療に励んで参りますが、今回統括診療部長という新たな職を仰（おお）せつかり、改めて自らの恩返しをしなければと気持ちを引き締めています。

「診療」とは読んで字のごとく、診察して治療するという病院活動の根幹をなすものです。各医師が所属する全33標榜診療科のみならず、様々な部門（歯科・放射線科・臨床検査科・リハビリテーション科・栄養管理室・臨床工学技士）のメディカルスタッフが日々の業務に励んでいます。私の役目はこのような各種診療に携わる職員を単に束ねることではなく、縁の下の力持ち的なコーディネーターとして皆が働きやすい環境を整えていくことだと思います。職員各人が互いに尊敬の念を持ち、医療チームの一員であることに喜びを感じられるよう、現場の意見を可能な限り吸い上げて適切な情報提供と部門間調整を行ってまいります。その上で、看護部・薬剤部・事務部職員と適宜協同し、コロナ禍においても安全・安心の医療を提供すること、地域のニーズにきちんと対応するべく入退院支援センター・地域医療連携室と協力し病床を適切にコントロールすること、患者さんの命と健康を守りつつ健全な病院経営に寄与する質の高い診療を行うことを目標に頑張っていきたいと考えています。

その前提として必要なのは、何でも話ができる風通しの良い職場環境です。病院職員の皆様はもちろん、当院と連携していただいている医療機関の方々におかれましては、率直なご意見やアイデアなど、是非「統括診療部長」宛てにご連絡ください。直接の電話やメール・間接的な伝言など、方法は問いません。当院に対する叱咤（しった）激励も含めて謹んで承り、今後の診療に活かしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

特集

病理診断科

■病理診断科医長　神農　陽子

病理診断科では、患者さんの身体から採取された組織や臓器から標本を作製して肉眼や顕微鏡を用いて観察し、炎症か腫瘍か、また病気の広がりや良悪性などを判断する“病理診断”を行っています。尿や膿、胸水腹水など、ありとあらゆる組織や細胞が扱われます。

腫瘍などが疑われる時には、生検を行う場所に細胞検査士が顕微鏡をもって出向き、採取したその場で迅速細胞診をおこない、目的とする病変の組織が採れているかどうか、良悪や病気の種類の推定などをその場で判断しています。そうすることで、その後に必要な検査工程を効率よく組み立てて、迅速に結果を得ることができます。

年間の診断件数は、2020年の実績で、組織診4,719件(うち術中迅速診断件数129件)、細胞診3,727件、病理解剖22件です。

悪性腫瘍など病気の種類によっては、遺伝子変異コンパニオン検査など有効性の高い薬剤が適用になるかどうかの判定検査も追加されるようになり、新規薬剤及びコンパニオン検査は開発が進んでいます。病理検査は診断精度を上げることも求められるだけでなく、治療薬選択の段階まで業務の範囲が拡大しています。

患者さんに対し適用可能な薬があれば、その恩恵を受けていただく機会を逃さないために、良質な検体処理が欠かせません。2018年には日本病理学会が、病理組織検体の質の向上のために「ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程」を編纂(へんさん)しました。当院でもこれを参考にして、検体処理方法を見直し、改善を続けています。これらの業務は病理検査室のみでは足りず、組織を採取したらなるべく早く固定処理を行うこと、病理検査室にいつ持っていくかなど検査の手順を見直して院内で周知を図り、各診療科の医師や手術室などの看護師にも協力していただいています。

全ての要員は専門医や認定病理検査技師資格の取得、学会参加、自己学習により技能の向上に努めています。また今年、病理を含む臨床検査室は、ISO15189国際規格の品質と能力に関する要求事項を満たす認定を受けるため準備を行っています。

業務内容

- ●病理組織診断
- ●細胞診断
- ●術中迅速診断
- ●病理解剖

構成スタッフ

常勤医師	2名(病理専門医2名)
非常勤医師	2名(病理専門医1名)
病理検査技師	5名(細胞検査士5名、うち認定病理検査技師2名)

後 左から　藤田主任、大石技師、松田技師、原田技師
前 左から　宍戸主任、神農医長、永喜多医師

a) 固定前プロセス

《切除・採取直後の組織の取扱い》

1. 手術により切除された組織は，摘出後は速やかに冷蔵庫など4℃下で保管し，1時間以内，遅くとも3時間以内に固定を行うことが望ましい（C）文献2，研究用規程1
2. 内視鏡的に切除等された消化管組織など，比較的小型の組織については，速やかに固定液に浸漬し固定を行うことが望ましい（C）
3. 生検により採取された組織は，速やかに固定液に浸漬し固定を行う（C）
4. ホルマリン固定パラフィン包埋化を行う細胞検体は，必要な前処理を適切に行ったのちに，可及的速やかに固定液に浸漬し固定を行う（C）
5. 手術により切除された組織においては，摘出後30分以上室温で保持することは極力回避する（N）

一般社団法人 日本病理学会(2019)「ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程」

術中迅速診断

特集

麻酔科

■麻酔科医師　西村　裕子

普段は目に見えない、縁の下の力持ち的存在？
手術室や集中治療室など命に関わる時に、誰よりもずっとそばにいて対応！
でも残念ながら、患者さんは眠っていて全くわかりません。。。

麻酔科医って、いつもどこで何してるの？

大きく分けると下の三つです。

①手術室での麻酔、術中の麻酔管理

- 点滴からの麻酔と呼吸で吸うガス麻酔　手術中ずっと二刀流
  ☞だから、手術の途中で麻酔が切れない！醒めない！
- 眠っている間は、のどに管を入れ人工呼吸、輸液、血圧測定
  ☞血圧低下、出血、酸素低下等、緊急事態にすぐに対応！
- あれっ、もう手術終わったの？今から始まるんでしょ？
  ☞麻酔で眠っている間は時間が止まっている？のかも
- 手術したハズなのに痛くない！なんで？
  ☞手術中に強い痛み止めを適量使うから。麻酔から覚醒した時に”ぜんぜん痛くありません”と言われると、実はとっても嬉しいデス

②集中治療室での全身管理、重症患者の治療
　後述

③ペインクリニック（現在休診中）

当院麻酔科の特徴

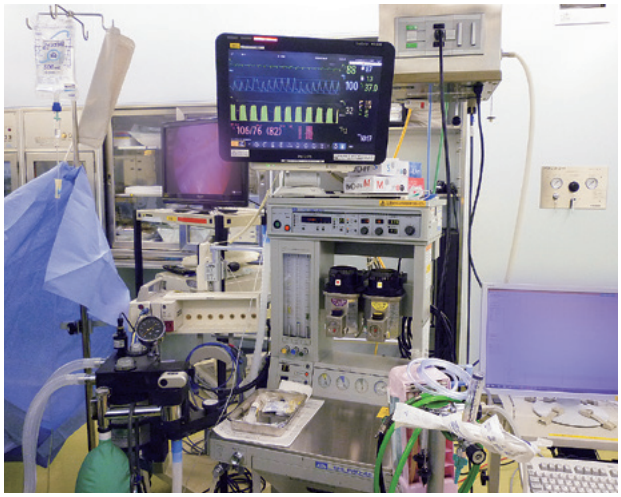
- 野上医長を中心とした、若手からベテランまで９名。
- 麻酔科学会認定指導医６名。
  機構専門医６名（うち５名は指導医を兼ねる）
  レジデント２名。
  JB-POT（経食道心臓エコー専門医）取得３名。
  集中治療専門医１名。
- 男性４名、女性５名（女性の方が多い！）
  妊娠、出産、病気、介護等に伴い、時短等のフレキシブルな勤務あり。
  麻酔以外に集中治療室での日当直もあり。

手術実績　2020年度　主要麻酔件数

総手術件数6,039件、そのうち、麻酔科管理症例数3,003件
（残り3,000件余りの非管理症例は、局所麻酔や自科麻酔等）

内訳	全身麻酔	2,845件
	（そのうち全身麻酔＋硬膜外麻酔併施267件）	
	腰椎麻酔＋硬膜外麻酔	59件
	腰椎麻酔	83件
	その他	16件
詳細	小児（6歳未満）	145例
	65歳まで	1,216例
	66歳以上	1,642例
	帝王切開（超緊急あり）	138例
	心臓血管外科	157例
	胸部外科	210例
	脳神経外科	43例
	整形外科	1,114例

特徴
- あらゆる科があり、あらゆる手術の麻酔に対応。
- あらゆる年齢層。
  未熟児から100歳以上。やはり高齢者が多い。
- 整形外科症例が全体の約1／3を占める。



実際に利用している麻酔器

集中治療室（ICU）でのお仕事

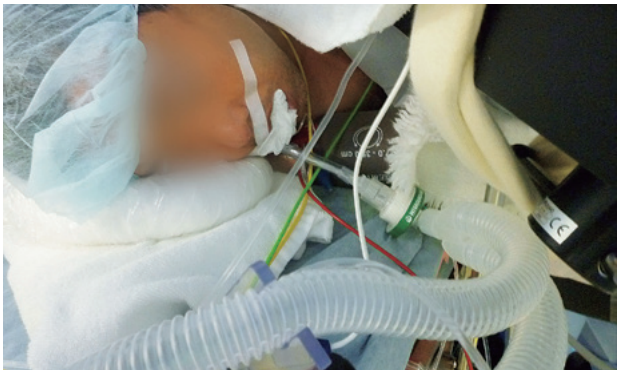
●ひとこと、循環呼吸管理に尽きると言えます
●24時間365日、日当直医が常駐

例えばどんな患者さんを診るの。。。？

●全身状態が非常に悪い（重症肺炎などの呼吸不全、心不全、肝不全等）
●血圧が全然上がらない（ショック状態）
●数千ml以上の大出血（外傷、出産、手術等）
●重症感染症（敗血症）
●心停止蘇生後
●脳出血等で意識レベル低下
●一日中、透析必要
●おおよそ８時間以上の長時間で難しい手術後の術後管理
●ECMO（今コロナで話題ですね）PCPS装着の患者さん等

じゃあ麻酔科医と、いつどこで会えるの？

●手術前日と翌日に病室へ訪問。
●麻酔方法の説明や、術後の全身状態チェック。
▶話ができるのはこの時だけ！些細な疑問など何でも質問して下さい！



全身麻酔下にて人工呼吸中の患者さん

中央　麻酔管理をする檀浦医師

おわりに

麻酔科医は直接患者さんとお会いする機会は少ないです。

●手術を安全に受けられるよう、循環呼吸状態の維持に努め
●重篤な状態になった時の治療をすみやかに行い
●他科の先生との橋渡しや手術の進行の段取りをする

院内でも地味な存在ですが、これからも我々麻酔科をよろしくお願いいたします！

特集

新型コロナウイルスワクチンの副反応について

～岡山県内5病院の医療従事者の結果（中間報告）～

■感染症内科医長　齋藤　崇

新型コロナウイルスワクチンは、現在ファイザー製のワクチンの接種が、医療従事者および高齢者の方々に行われています。ファイザー製ワクチンは発症予防効果が95％、重症化予防効果が92％と報告され、とても効果が高いワクチンと考えられています。一方でワクチンの副反応が心配、という方がおられるかと思われます。このたび、岡山県の依頼を受けた岡山県内5病院（当院、岡山大学病院、岡山済生会総合病院、津山中央病院、岡山赤十字病院）で協力し実施されましたファイザー製ワクチンの副反応調査の中間報告をお知らせいたします。詳細は岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野のホームページをご覧ください。

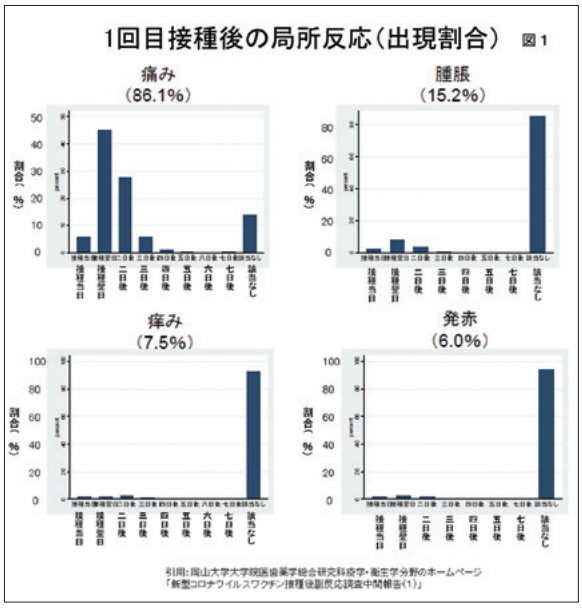
そもそもワクチンの副反応とは、どういう事象でしょうか。ワクチンが原因かどうかわからないけれど、ワクチンを接種した後に好ましくない反応が出たものを有害事象といいます。有害事象の中で、ワクチンが直接原因でおこったものが副反応です。

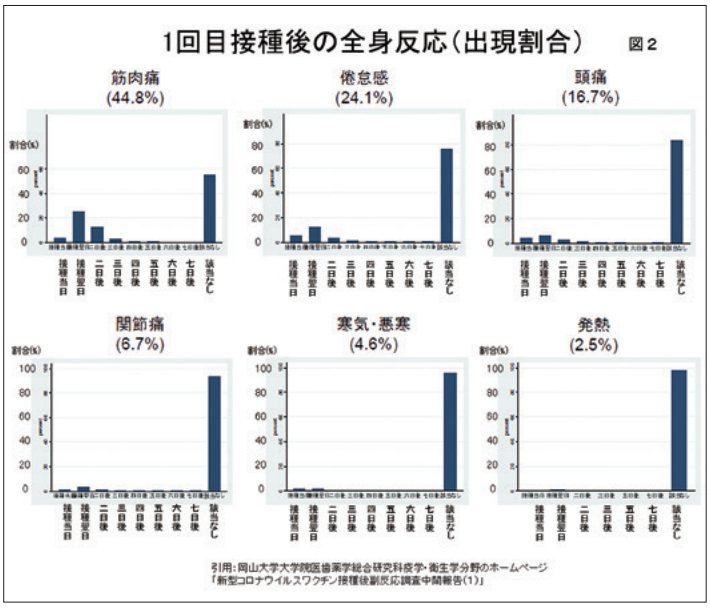
それでは、岡山県内5病院でファイザー製のワクチンを接種した医療従事者延べ4,149人（1回目2,288人、2回目1,861人）の副反応の出現状況です。1回目を接種した後に、局所反応として接種部位の痛みが86.1％、腫脹が15.2％で認められ（図1）、全身反応として、筋肉痛が44.8％、倦怠感が24.1％、頭痛が16.7％の順に多く、発熱は2.5％で認められました（図2）。1回目の接種後に発熱や接種部位の痛みの出現頻度は年齢が若いほど高い傾向にあり（図3）、23.9％の方が主に接種当日や接種翌日に解熱鎮痛剤を使用していました。2回目を接種した後に、接種部位の痛みは86.9％で接種回数にかかわらず高い頻度で確認され、発熱は38.3％と1回目の2.5％から大幅に増加しました（図4）。発熱者の割合はやや女性が多く、若いほど出現頻度が多い傾向にありました（図5）。接種回数に関わらず、副反応としての局所症状や全身症状の多くは接種翌日に出現し、その翌日には改善傾向にありました。

どんなワクチンにも効果がある一方副反応が起こる可能性があります。どんな副反応がいつ頃に現れるかを知っておかれると、事前に解熱鎮痛剤を用意するなどの対策がとれるかと思います。今回は中間報告でありますが、接種の判断や接種後の準備の参考にしていただければ幸いです。

最後にワクチン接種をされても、ワクチンを接種した方から他人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていませんので、引き続き、**密集・密接・密閉の「密」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒の励行など基本的な感染予防対策を継続**していただくようお願いします。

謝辞：本稿の執筆にご助言いただきました岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野教授頼藤貴志先生に深謝いたします。





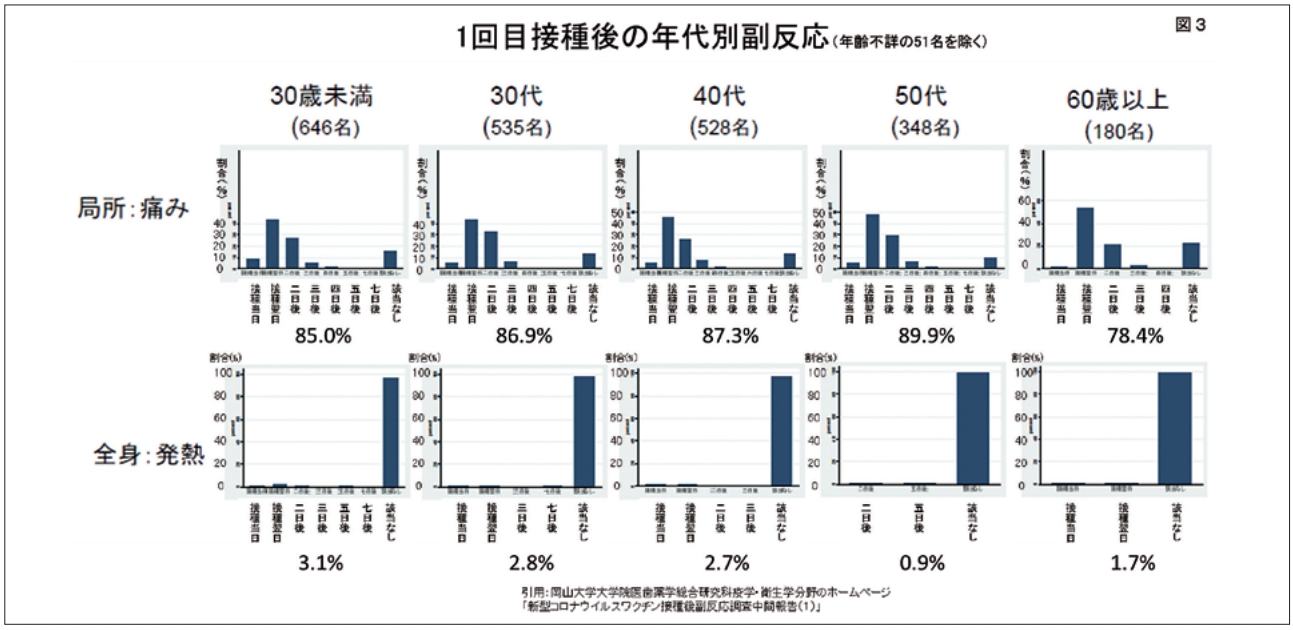


図3
1回目接種後の年代別副反応（年齢不詳の51名を除く）
30歳未満 (646名)
30代 (535名)
40代 (528名)
50代 (348名)
60歳以上 (180名)
局所：痛み
85.0%
86.9%
87.3%
89.9%
78.4%
全身：発熱
3.1%
2.8%
2.7%
0.9%
1.7%
引用：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野のホームページ
「新型コロナウイルスワクチン接種後副反応調査中間報告(1)」

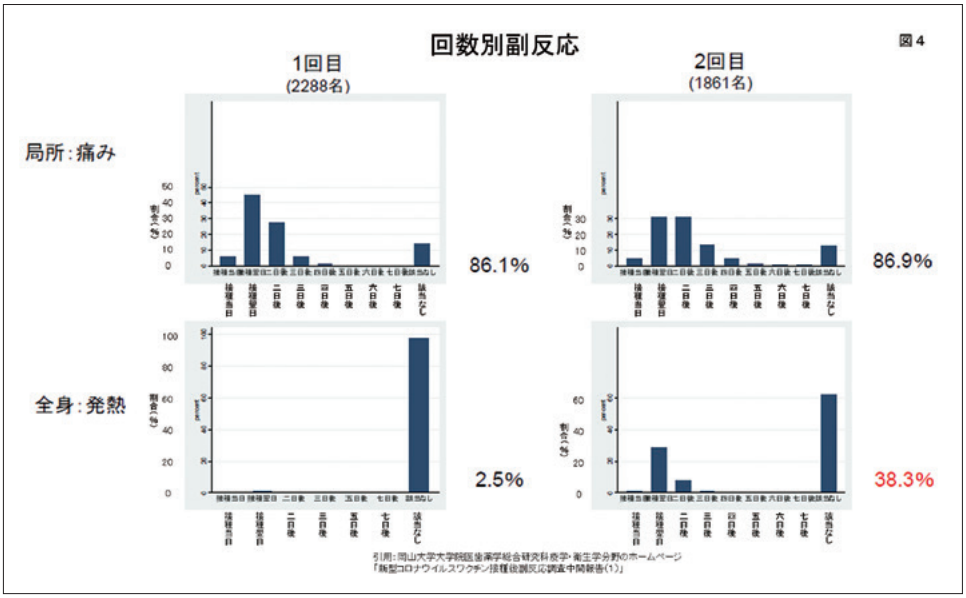


図4
回数別副反応
1回目 (2288名)
2回目 (1861名)
局所：痛み
86.1%
86.9%
全身：発熱
2.5%
38.3%
引用：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野のホームページ
「新型コロナウイルスワクチン接種後副反応調査中間報告(1)」

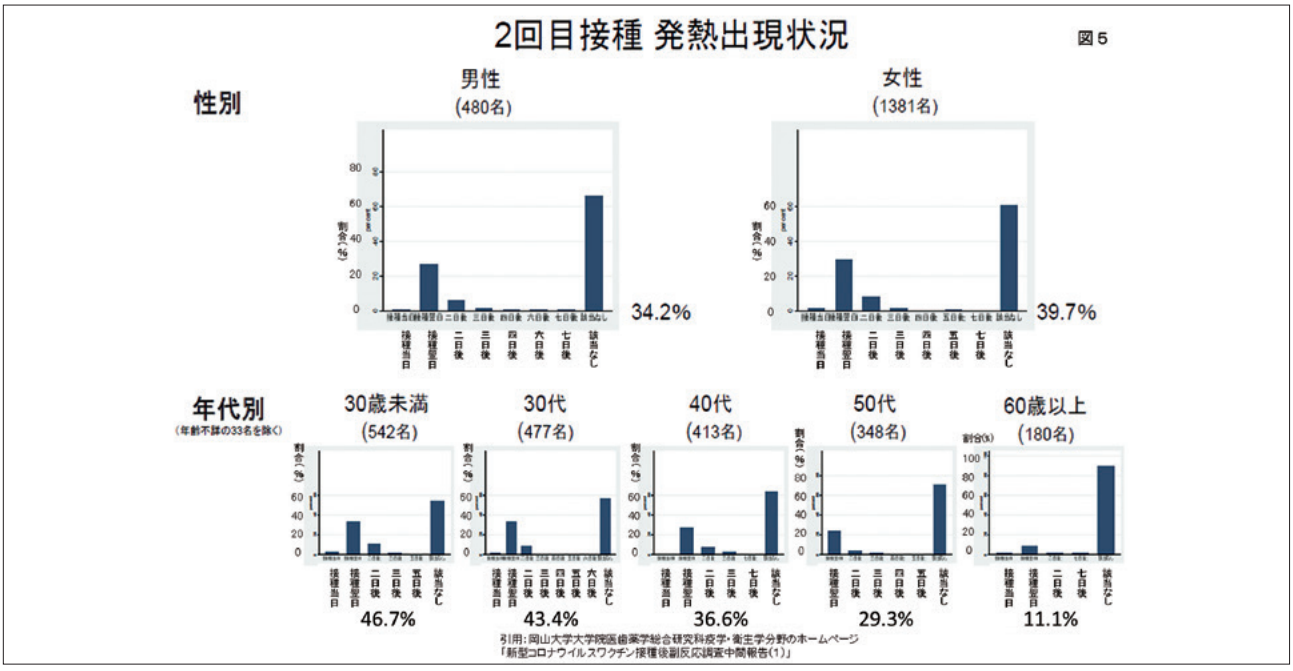


図5
2回目接種 発熱出現状況
性別
男性 (480名)
女性 (1381名)
34.2%
39.7%
年代別
（年齢不詳の33名を除く）
30歳未満 (542名)
30代 (477名)
40代 (413名)
50代 (348名)
60歳以上 (180名)
46.7%
43.4%
36.6%
29.3%
11.1%
引用：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学・衛生学分野のホームページ
「新型コロナウイルスワクチン接種後副反応調査中間報告(1)」

特集

がんゲノム医療が始まりました

■臨床検査科長　神農　陽子　■臨床研究部　平野　麻里絵

がんゲノム医療とは

「身体のどこにがんができたか」、つまりがんの種類で治療法を考えるのではなく、がんの遺伝子の変異を調べ、その変異に基づいて治療をする医療です。

2002年以後、診断治療のために採取したがん組織や血液を用いて、がん遺伝子を一つ一つ個別に検査し、特定のがん遺伝子変異の有無に基づいて効果の高い薬を使うようになりました。このように薬の効果を予測するために行う検査を「コンパニオン検査」といい、近年、多くの薬が開発され、それらの薬に対応する検査も年々増えています。

また、遺伝子解析技術が向上し、採取した腫瘍組織を利用して、一度にたくさんの遺伝子がより安価に解析できる様になってきました。実診療においても、がんに関連する数十～数百個の遺伝子をまとめて解析し、治療の標的となる遺伝子を探す、がん遺伝子パネル検査が開発されましたが、自費診療では10～100万円前後が必要でした。

2019年６月には２種類の遺伝子パネル検査が保険収載され、認定を受けた病院で実施されるようになりました。当院も2020年１月にがんゲノム医療連携病院に認定されており検査が可能で、費用は56,000点（３割負担で168,000円）です。遺伝子パネル検査は、「家事や事務仕事が可能な程度に全身状態が良く、がんが希少なために標準的な治療がないか、あるいは標準的な治療が終了している（もしくは終了が見込まれる）」と、主治医が判断した患者さんに保険診療として実施されます。

がんと診断された場合、先ず一番有効だと証明されている「標準治療」を行います。その過程でコンパニオン検査も行われ、薬が選択されます。それらの標準治療を尽くした後に、がん遺伝子パネル検査が検討されます。パネル検査で保険適用薬のある遺伝子変異が見つかっても、それ以前に行ったコンパニオン検査で判明し、すでに使っている場合が多いため、がん遺伝子パネル検査の主な目的は、「臨床試験あるいは治験」を探し出すことです。そこで使用される新薬は遺伝子変異に基づいており、有効性が期待されますが、まだ有効と証明されてはいない薬です。

当院でのがん遺伝子パネル検査の現状

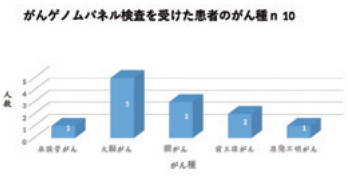
2020年10月に開始し、現在までに当院通院中の12人の患者さんが検査を受けられました。

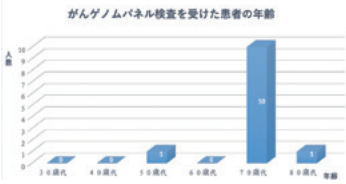
保険診療の治療法が見つかった患者さんは２人おられ、そのうち１人の患者さんは当院で治療を行っています。

また、7人の患者さんに治験による治療法が見つかりましたが、いずれの治験も他県の医療機関で行うものでした。コロナ渦の今、他県の医療機関まで出向くことは難しい印象を受けます。

がん遺伝子パネル検査は、遺伝子の変異が見つかっても、その変異に対する治療法がないケースが多く、治療法が見つかったとしても、実際に治療に結び付く割合は約１割とされています。

検査を受けようと思ったきっかけを伺ったところ、主治医から勧められた場合が多かったですが、家族から勧められたという方や、ニュースでがん遺伝子パネル検査が保険適用になったことを知り主治医に確認した方もおられました。





がんゲノムパネル検査を受けた患者の内訳　2020年10月～2021年4月8日

遺伝性腫瘍について

この検査の過程で、がんの遺伝性が疑われることがあります。家系内にがんの方が多い訳ではなく、いわゆる、がん家系とはいえない方でも遺伝性素因を指摘されることがあります。がんの１割に遺伝性素因が見つかっており、それほど珍しくもありません。そのような場合に結果を知りたいかどうか、家族の誰になら結果を伝えてもいいかなどを、検査の前に確認させていただきます。知りたくない場合は、医療者は結果に関わらず伝えないという選択肢があります。また、検査の結果、可能性があるとされた場合には、遺伝性腫瘍について専門家から説明を受けることもできるので、ご相談下さい。遺伝性素因を知ることで、自分だけでなく子孫まで、発症しやすい腫瘍の種類や年齢がある程度予測できる側面があります。前向きに検診や予防的治療などを行うことで、早期発見、早期治療につなげることができます。

遺伝子パネル検査の結果は、がんの種類や治療、経過の情報とともに全国規模で集積されます。その情報はこれからのがん研究や製薬に役立てられ、新たな治療戦略が産まれてくることが期待されています。

皆様は、ロザリア・ロンバルドという少女をご存じでしょうか。少女は、イタリア・パレルモの修道院で祀られているミイラです。2才直前に病気で死亡したとき、両親はひどく悲しみ、生前の姿そのままに保存する処置を施してもらいました。1920年の事です。

子供の頃にテレビで見て、まつげも髪の毛もきれいに保たれているのに驚いたことを覚えています。最近になり知ったのですが、腐敗を防ぐため用いられたのはホルムアルデヒド（ホルマリン）という試薬でした。

現在でも、ホルマリンは病理検査の為、日常的に用いられています。（毒劇物のため、病院では保管管理、数量管理をしっかり行っています。）　体から採取した組織や臓器を浸漬（しんせき）して（「固定」といいます）、その次に組織に蝋（ろう）を染みこませ、室温でも長期保存できるようにしています。30年前の検体でも標本を作成して、形態を観察することが可能です。現在の病気の診断に役立てるため、同じ患者さんの過去の標本を確認して、疾患の再発か、もしくは新たな病気が起こったのかを推定したり、まれな病気であれば、疑われる疾患の標本を探してきて標本を見比べたりします。インターネットの無かった時代の病理医にとっては、正しい診断を行うため参考となる標本はできる限り多く保存しておくことが必要でしたし、いまでもその重要性は変わりません。このように、ホルマリンは長期安定して形態を保存することができる優れた試薬です。

一方、ホルマリンにも短所があります。ホルマリンに長く浸漬（しんせき）していた、あるいは蝋（ろう）に埋めて長期保存していた組織は、顕微鏡で観察できる程度に形態が保たれていても、DNA、RNA、タンパク質などの非常に小さいレベルではぼろぼろに壊れているのです。遺伝子やタンパク質を解析しようとした場合、以前は組織を新しく採取するか、あるいは一部凍らせて保存しておき、そこからDNA、RNA、タンパク質を抽出しないと解析（かいせき）可能な品質にはならなかったのです。研究目的で、特定の疾患に限って組織を凍結保存することはありましたが、日常診療に用いるには、費用や手間暇がかかりすぎて不可能でした。

しかし、2003年にヒトゲノムの遺伝子配列がすべて解読されてから、技術がどんどん革新され、より早くより大量のDNA断片の配列が読み取れるようになりました。それによりホルマリン固定により断片化した遺伝子配列を読み取り、スーパーコンピュータを用いてパズルのようにつなぎ合わせて、もとの遺伝子配列を再構築することができるようになりました。また、過去の研究論文で報告されてきた疾病と遺伝子変異の関係をコンピュータで解析することで、遺伝子変異による疾病分類が提唱（ていしょう）されたり、検出された遺伝子変異に対応した治療薬が提示されるようになりました。このような治療薬は非常に有効なものが多く、正確に診断し、適切な遺伝子検査を行って、治療機会を逃さないようにすることが求められます。

最後に

有効な治療法が見つかれば、とても喜ばしいことです。しかし、この検査を保険診療で行うには、いくつかの条件があります。残念ながら、現在の保険診療では限られたがんの患者さんしかこの検査を受けることができません。

また、検査から結果説明まで２ヶ月ほど時間を要すこと、治療に結び付くのは１割程度であること、遺伝性腫瘍の原因となる遺伝子が見つかるかもしれないことなど、主治医と患者さんがしっかり相談して検査を行うことが大切です。当院では、まだ開始して間がないため、当院通院中の患者さんのみを対象として、試行錯誤しております。今後、体制が整い次第、他院の患者さんの受け入れを考慮したいと思います。

医療安全レポート

医療安全管理室が新体制となりました

2021年４月より、医療安全管理室が新体制となりました。室長：太田徹哉統括診療部長、副室長：小林克恵医療安全管理係長を中心として、院内各領域から室員が集まっています。活動目標は、院内各部門での医療安全に対する認識・実践力を高めること、医療安全に関する事例分析・検討の結果をフィードバックし、インシデントの更なる減少を目指すこと、院内ルールの遵守（じゅん しゅ）・定着を図ることです。昨今の新型コロナウイルス感染に対する予防・検査・ワクチン投与などの対応を例にとってみても、医療とは決して確実かつ安全なものではありません。医療行為はリスク（危害や損害などに遭う可能性）と絶えず隣り合わせです。その中で、患者さんの安全を確保しつつ着実に診療を行なっていくために、我々は様々な方法で医療安全に取り組んでいます。当院では、医療安全管理室に加えて職種横断的にセーフティマネージャー会議を組織しており、（１）転倒転落の防止（２）薬剤の安全な使用（３）患者さんの安全を守るTeam STEPPS促進（チームステップス：医療のパフォーマンス向上と患者安全を高めるために開発した医療人におけるコミュニケーションツール）というグループに分かれて活動しています。今後も定期的に医療安全に関するご案内を院内情報誌に寄稿いたしますので、患者さん・ご家族・職員の皆様におかれましては、当院の医療安全に対する取り組みにご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

■医療安全管理室長　太田　徹哉

肺がんに対する
★ピンポイント照射★を始めてます!!

■放射線治療専門放射線技師　田渕　耕介

皆様、ご存知でしたか？当院でも2018年（平成30年）６月から肺がんに対する定位放射線治療（いわゆる“ピンポイント照射”）を開始しています。その特徴を３つ挙げます。

【①肺がんにのみピンポイント治療】

通常の肺がん放射線治療よりも多くの放射線をピンポイントに当てる技術を用いています。したがって、正常臓器（正常肺や脊髄、食道、心臓など）にはほとんど放射線が当たらないので、治療を必要とする肺炎や食道炎などの副作用はほとんど起こりません（図１参照）。

ただし、適応としては比較的早期のがん（がんの大きさが小さく、リンパ節転移や遠隔転移がない）に限ります。

【②短期間治療】

通常の肺がん放射線治療は１カ月程度（１回の放射線量２Gyを30回実施する合計60Gyの場合）で行いますが、定位放射線治療は当院の場合は最短で４日間（１回の放射線量12Gyを４回実施する合計48Gyの場合）で終了します。肺がんの位置によって放射線量を変更する為、５日間や８日間で治療する場合もあります。

【③通院治療】

通常の肺がん放射線治療では抗がん剤と併用するため入院が必要となりますが、定位放射線治療では通院での治療が可能です。

≪他院とは違う当院の定位放射線治療の特徴≫

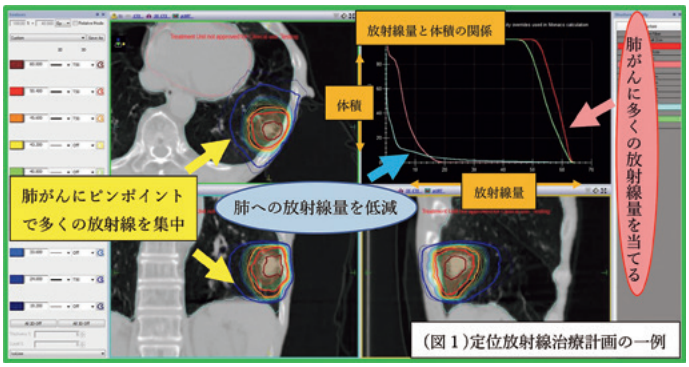
◎患者さんに安全な治療

当院では通常の肺がん放射線治療は、放射線科の初診日にCT撮影と放射線治療計画を実施し、翌日には治療開始となります。しかし、定位放射線治療の場合には翌日の治療開始はできません。我々は患者さんの安全を最優先に考えて、放射線科初診日から１週間の準備期間を設けて治療を実施しています。準備期間内に①連日３日間のCT撮影による肺がんの形態と動きの精査、②治療室での治療デモンストレーション（練習）、③放射線治療専門医と放射線治療専門放射線技師によるコンピュータを用いた高精度放射線治療計画の作成、④作成された治療計画の安全性の検証（治療機器の機械的動作確認や放射線量の測定など）を個々の患者さんに対して念入りに行うことで、安全な放射線治療を提供しています。

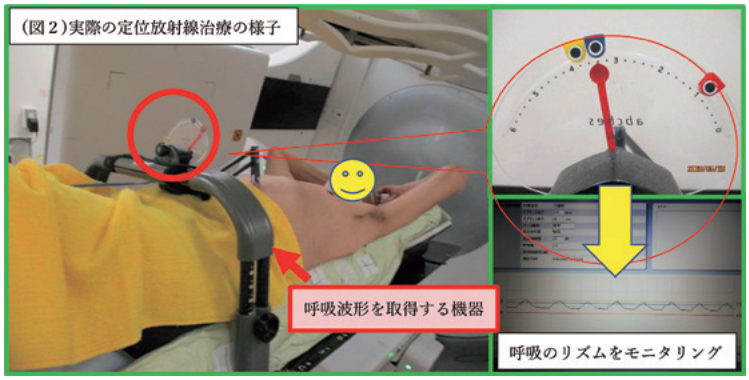
左から　坂田看護師、佐々木主任、新屋医師、田邊医師、西田技師、田渕技師

◎患者さんに優しい治療

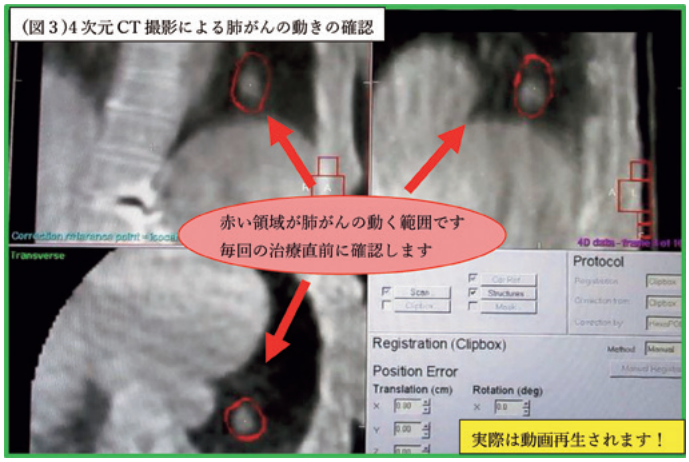
肺がんは呼吸によって常に動きます。したがって、肺がんにのみピンポイントに放射線を当てる定位放射線治療では呼吸を抑制する方法（器具による腹部圧迫や患者さん自身による呼吸停止）がよく用いられますが、特に高齢の患者さんにとっては負担が大きいと我々は考えています。当院では、呼吸波形を取得する機器を用いて個々の患者さんの呼吸リズムを把握して、４次元CT（動画CT）撮影を行うことで肺がんの動きに合わせてピンポイントに放射線を当てる方法を用いています（図２、３参照）。したがって、患者さんには楽な呼吸でリラックスして治療を受けていただけます。



（図１）定位放射線治療計画の一例



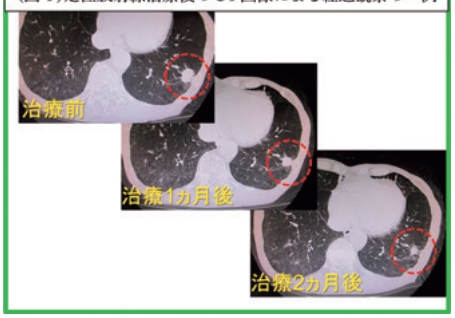
（図２）実際の定位放射線治療の様子



（図３）4次元CT撮影による肺がんの動きの確認

◎最後にひとこと◎

当院では、現在までに肺がんに対する定位放射線治療を18例実施してきました（2021年５月時点）。重篤な副作用はなく治療経過も良好です。治療経過の一例をお示しします（図４参照）。これからも１人１人の患者さんに全集中で安心･安全な放射線治療を提供していきます！



（図４）定位放射線治療後のCT画像による経過観察の一例

栄養管理室 PRESENTS!

栄養満点！ヘルシーメニュー

免疫力を高める腸活レシピ！

■管理栄養士　堀田　侑希

皆様は自分の便を観察したことはありますか？

理想的な便は黄色がかった褐色（かっしょく）で臭くなく、形状は柔らかいバナナ状です。便は腸の健康状態をお知らせしてくれます。

腸には人の免疫細胞の70%が存在しており、ウイルスや細菌などの異物を体内に入れないための重要な器官です。腸の健康を保つためには良い働きをする善玉菌を増やすことが有効です。

感染症や食中毒、夏バテが心配なこの季節、免疫力を高める腸活にぴったりなレシピをご紹介します。

両方とるとより効果的！

善玉菌を含んだ食品（発酵食品）

乳酸菌やビフィズス菌が含まれています。
味噌、納豆、キムチ、ヨーグルトなど

善玉菌のエサになる食品

オリゴ糖や食物繊維が菌のエサになります。
野菜、バナナ、大豆など

納豆オクラそうめん

【材料】（1人分）
- オクラ……3本
- 塩（板ずり用）……適量
- 納豆……1パック
- 乾そうめん……1.5把
- 温泉卵……1個
- 刻み海苔……適量
- めんつゆストレート……80cc
- オリーブ油……小さじ1

腸の蠕動（ぜんどう）運動を活発にさせて排便を促してくれます。

【作り方】
①オクラは塩をかけ、板ずりする。
②納豆は付属のたれとからしをお好みで加えて、よくかき混ぜる。
③鍋に湯を沸かし、オクラ、そうめんの順に茹で、ざるに上げ冷水でしめる。
④オクラは小口切りにする。
⑤そうめんを皿に盛付け、その上に具材をのせる。
⑥めんつゆとオリーブ油を混ぜ合わせ、上からかけたら完成。

1人分の栄養量
- エネルギー　427 kcal
- たんぱく質　20.6 g
- 塩分　3.9 g

甘酒にはオリゴ糖が豊富に含まれています。

甘酒バナナジュース

【材料】（1人分）
- バナナ……1/2本
- 甘酒（砂糖不使用）……50cc
- 無糖ヨーグルト……50cc
- 氷……適宜

【作り方】
バナナと他の材料をミキサーにかけて完成。

1人分の栄養量
- エネルギー　110 kcal
- たんぱく質　3.1 g
- 塩分　0.2 g

診療看護師（Nurse Practitioner: NP）の紹介

"医師と確認の上、一定の範囲の診療行為を提供できる、診療と看護の能力を併せ持つ看護師です。"

循環器内科

■診療看護師　藤井　宣匡

診療看護師の藤井宣匡です。

私は当院附属看護学校を卒業し、主に５Ａ病棟で循環器内科の集中治療領域で働いてきました。15年間の看護師経験の中で、更なる知識や技術を習得する必要性を感じ、2018年から東京医療保健大学大学院に進学しました。２年間の大学院では、状況に応じた診療を実践できる力を習得するため、疾患･治療などの医学的知識や臨床推論などの思考過程、診察･処置などの技術に関する専門的な教育を受けました。また、日本NP大学院協議会による資格認定試験に合格し、昨年度より診療看護師（NP）として働いております。昨年度は卒後研修として院内をローテーションしながら各診療科での診療を学び、本年度より循環器内科に配属となりました。現在は主に心臓カテーテル室で虚血性心疾患や不整脈などの治療･検査に携わっており、医師―看護師―多職種と協働しながら、治療や検査が安全かつスムーズに進行するように努めております。

診療看護師となってからは医師と行動することが増え、患者さんの治療により踏み込んだ活動が増えましたが、看護師であることに変わりはありません。従来通り看護師としての細やかな配慮や、頼みやすさ･話しかけやすさなどを両立できるよう心がけております。診療看護師として治療と看護の両方の側面から患者さんの安全･安楽に十分に配慮し、満足度の高い医療の提供を目標に努力して参りますのでどうぞよろしくお願いします。

右　医師と共に心臓カテーテル検査を行う藤井診療看護師

心臓血管外科

■診療看護師　寶泉　春夫

診療看護師とは、厚生労働省が推進している働き方改革（チーム医療）を実践するために、保健師助産師看護師法の改正を経て生まれた職種です。①看護師として５年以上就業、②養成教育を行っている大学院での２年間の修士課程、③資格認定試験に合格の３条件を経て診療看護師として医療現場で勤務しています。私達は、配属診療科における指導医のもとで、患者さんの診察、入院中の検査や治療の一部を行っています。簡単に説明しますと、医師と看護師の中間にいる医療者である、とのイメージでよいと思います。

私は診療看護師として今年６年目となりました。最初の３年間は心臓麻酔医と共に術中の麻酔業務を行っていました。その間も術前･術中･術後の患者さんへの医療についてずっと興味があり、学びたいと思っておりました。幸い縁あって岡山に来ることになり、2019年から心臓血管外科で働いています。今は、自分が診療看護師として目の前の患者さんに何ができるのか、患者さんはどうなっていきたいのか、家族はどう考えているのか等、様々な問題に対して医師よりも患者さんに近い位置で橋渡しをすることで、よりよい医療を提供することが出来るようになってきたと思います。私の存在に対しては看護師側および医師側からも、業務軽減になった事や今疑問に思っている事をすぐに解消することが出来た等、ありがたいお言葉を頂いています。これからも色々な問題に対して真摯に向き合いたいと、気を引き締めております。

2021年４月１日時点で全国に診療看護師は合計572名となりました。各病院、部署、訪問看護など様々な場所で働いております。

私もまだ道の途中であり、開拓者です。しかし原点にあるのは診療看護師として患者さんを助けたい、という思いです。これからも岡山医療センター心臓血管外科で研鑽を続けていきたいと思っています。よろしくお願いします。

カンボジアからの小児肝臓がんの乳幼児2人が治療を終えて退院しました

■小児外科医長　中原　康雄

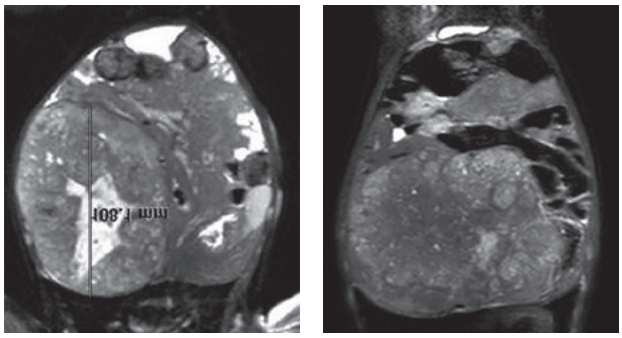
経緯

カンボジアでは、癌を発症した子どもの多くが、十分な治療を受けることができずに命を落としています。特定非営利活動法人ジャパンハートは、カンボジアのジャパンハートこども医療センターで、小児の特に固形腫瘍の治療を行っており、当院小児外科チームも渡航して多くの手術を行ってきました。現在のCOVID-19の感染拡大のため、医療従事者のカンボジアへの渡航が非常に困難となりました。今回、時期を逸することなく手術を施行する必要があり、特に厳重な全身管理を要する２人の乳幼児の手術を岡山医療センターで引き受けることになりました。

来院まで

引き受けるにあたっては、COVID-19の感染予防に配慮した計画を立てる必要がありました。カンボジア国内のCOIVD-19感染者数は、１月当時、日本国内よりもはるかに少ない状況ではありましたが、出国前、入国時のウイルスチェック、２週間の隔離期間の後、当院へ来院してもらいました。来院後に再度、患児と付き添い者全員を検査し、陰性を確認後、２月10日に入院していただきました。

治療



２人の初診時の画像：左が７カ月の児、右が12カ月の児の画像であり、大きな腫瘍が肝臓を占拠している。

２人は７カ月と12カ月の男の子で、小児肝臓がんである巨大な肝芽腫を発症し、ジャパンハートこども医療センターで数か月間化学療法（抗がん剤治療）を行われておりました。入院後の精査の結果、転移などはなく、７カ月の児は肝の右葉切除、12カ月の男の子は拡大左葉切除という術式で癌を完全に取り除くことが可能であることが分かりました。主要な脈管との位置関係次第では手術が出来ない場合もある、と聞いていたご家族は、摘出できることが分かり喜んだ反面、異国の地で命を落とす可能性もある大きな手術に対する不安も、口にされていました。２月12日に７カ月の児の手術を、２月16日に12カ月の児の手術を計画通りに終えることができました。手術が無事終わり、不安な表情が多かったご家族も安心され、笑顔が見られるようになりました。入院中のご家族への説明は、カンボジア人の通訳を介して行っていました。私は片言の英語を通訳してもらっていましたが、看護スタッフは頻用カンボジア語を覚えてコミュニケーションをとっており、その意欲には感心させられました。大きな肝芽腫の場合は術後にも化学療法が必要となります。それぞれ術後９日目から化学療法を行い、２人とも３月11日に帰国の途につきました。帰国後はカンボジアで２週間の隔離措置を受けた後、ジャパンハートこども医療センターで化学療法を行われ、２人とも元気に退院することができたそうです。肝芽腫は転移がなく、手術で全摘できれば治癒率の高い病気です。今後２人がカンボジアの地で元気に成長し、素晴らしい人生を歩んでくれることを願っています。

”ひな祭りを楽しみました”

”元気に遊べるようになりました”

最後に

快く受け入れの許可をしていただきました久保院長先生および病院幹部の先生方、検査、治療に携わった院内の先生方、医療スタッフの皆様のご協力に感謝いたします。

初期研修医通信

■初期研修医　田中　慎太郎

こんにちは。初期研修医２年目の田中慎太郎と申します。見渡せば花の便りも心地よく、穏やかな日差しと共に流れるように時が過ぎゆく季節となってまいりました。この春先にも沢山の方々との出会いと別れがあり、私自身も気がつけば医師として２年目の春を迎えました。

新型コロナウイルス感染症の影響がここまで全国的に拡大するとは予見も出来なかった時節に医師国家試験を受け、合格とともにこれから医師として多くの方のお役に立ちたいという覚悟と一抹の不安を胸に、ちょうど１年前に当院に入職いたしました。

当院において初期研修医は、主として入院中の患者様を担当医の一人として担当させていただき、そこで基本的な病棟業務や急変時の対応など、医師として基本的なスキルを習得することを目標としています。判断に悩むようなケースでは、経験豊富な指導医の先生の助言や指導を綿密に受けながらまた多職種で連携して、より安全で質の高い医療を患者さんにご提供出来るように日々励んでおります。

初めは痛み止めの一つを処方するにも、副作用が起こらないか心配で、薬剤の添付文書を読み、何人もの先生に御相談させていただき、そうやって少しずつ成長してまいりました。頼りない場面もあるかと存じますが、目の前の患者さんに少しでも良くなってほしい、元気になってもらいたい、その思いはこれまでもそしてこれからも、ずっと変わることはありません。

１年が経ちました。全力で駆け抜けた１年でした。それでも医師としては本当に未熟で、これからも沢山悩み、力不足を痛感し、そんな毎日を送るのだと思います。

地域の皆様、私たちは皆様の温かいお気持ちに支えられて、今こうして医療者として皆様に関わりながら生きていくことが出来ております。お困りのことやお気づきの点などございましたら、いつでもお声掛けください。皆様のお力になれるようこれからも日々研鑽を積んでまいります。

薬だより

Message from the pharmacist

つわり、便秘のお薬について

■製剤主任　唐川　雅生　■薬剤師　佐藤　里奈

今回は妊娠初期（4～6週頃）によく起こる症状のつわりや便秘に使用するお薬について説明します。

■つわり

食欲不振、悪心・嘔吐などの消化器系の症状を中心とした状態です。なぜ起こるのか、そのメカニズムはまだ科学的に解明されていません。

〈よく使用されるお薬〉

- メトクロプラミド
- ファモチジン　など

■便秘

体のホルモンの影響や子宮が大きくなることにより、食べ物が通過する時間が延びたり消化管運動が低下したりすることにより便秘になりやすくなります。

〈よく使用されるお薬〉

- 酸化マグネシウム錠
- ピコスルファートナトリウム水和物　など

上記に挙げたお薬は妊娠中に使用しても赤ちゃんに影響しにくいといわれています。
さて、皆様は「妊娠と薬情報センター」を知っていますか。
妊娠と薬情報センターは妊娠・授乳中の服用に関する情報機関です。
当院も拠点病院に指定されており、妊娠中や授乳中に使ったお薬が赤ちゃんに影響がないのかなどのお薬に関するご相談を受け付けています。

気になる方は当院ホームページをご参照ください。

【岡山医療センターホームページ（https://okayama.hosp.go.jp/）＞その他の部門＞薬剤部＞妊娠と薬外来】

KIWANIS INTERNATIONAL JAPAN DISTRICT

子どもたちのために活動する団体「岡山キワニスクラブ」について

■院長　久保　俊英

2020年7月7日、岡山キワニスクラブ（会長：岡山医療センター院長）は、子ども達のために活動する奉仕団体として、日本国内で39番目に発足しました。

主な活動をご紹介します。

① キワニスドールの製作

キワニスドールは、すべて手作りで、身長約40㎝、体重約50gの無地の布製人形です。闘病中の子ども達の不安を和らげるため、子ども達が顔や服などを自由に描いて使います。また、治療の説明にも用いられています。このキワニスドールを会員や地域の高校生などと製作しており、今後県内の病院や看護学校等へ寄贈する予定です。

② 児童虐待防止「オレンジリボン運動」

子ども虐待のない社会を築くため、多くの方に子ども虐待の問題に関心を持っていただくお手伝いをしています。

③ 地域プロジェクト

3月20日（土）、岡山市母子寡婦福祉連合会や岡山市などと共催し、ひとり親家庭で育った子ども達の小学校入学を祝うため、「おかでんチャギントン電車＆おかでんミュージアム」に28組の家族を招待し、お祝いメッセージとともにプレゼントを贈呈しました。

また、4月10日（土）、岡山シーガルズによるバレーボール教室を開催し、岡山市在住の生活困窮家庭等の小中高校生を招待しました。

今後も、子ども達が笑顔になるための活動を行っていく予定です。

キワニスクラブとは

世界中の子ども達のために活動を行う民間の奉仕団体。ロータリークラブとライオンズクラブに並ぶ、世界三大社会奉仕団体の一つ。〔本拠地：米国インディアナポリス〕

お問い合わせ・入会申込み

岡山キワニスクラブ　事務局
〒700-8706 岡山市北区内山下1-11-1
うちさんげ電気ビル
（中国電力㈱岡山支社内）
TEL：086-222-6731

岡山キワニスクラブは子ども虐待防止のオレンジリボンキャンペーンに協力しています

2020年9月23日 認証状授与式・祝賀会開催

キワニスドールを製作する興陽高校生

小学校入学児童へお祝いを伝える久保会長

岡山シーガルズの選手に指導を受ける子ども達

臨床研究推進室便り

医学の進歩に積極的に関与する部署です。

■CRC（看護師）　藤井　祐美

早いもので今年も折り返し地点の頃となりましたが、相変わらず新型コロナウイルス感染に気をつかう日々が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、岡山市でも新型コロナワクチンの高齢者の接種が開始されましたが、当院では、一足先に医療従事者向けの先行接種を2月～3月に行いました。日本人での治験データが少ないことから、より多くのデータを集め安全性を公表することでワクチンに対する信頼性を確保するため、国からの要請により実施しました。先行接種は研究を伴うもので、臨床研究推進室一丸となり、職員への周知や接種会場の準備、データの収集を行いました。多くのスタッフの協力が得られ、当院では1,200名弱が3月までに2回のワクチン接種を終了しました。職員は所定の日誌に接種後の体温や接種部位反応、全身症状を1回目、2回目それぞれ10日間記録し、臨床研究推進室スタッフがデータ報告を行いました。

副反応等のデータの解析結果が厚生労働省より報告されておりますので、皆様も是非確認していただければと思います。そして、皆様のワクチンに対する不安が少しでも軽減でき、ワクチン接種が進み、コロナが落ち着いてくることを願っております。

〈参考〉　厚生労働省ホームページ：https://www.mhlw.go.jp

当院でのワクチン接種対応の様子

看護助産学校通信 Vol.43

入学式を終えて

■看護学科第23期生　石井　南々子

令和3年4月9日、私たち看護学科23期生は立派な看護師になりたいという大きな希望を胸に、独立行政法人国立病院機構岡山医療センター附属岡山看護助産学校に入学しました。1年生の多くが初めてスーツに腕を通し、普段より少し背筋を伸ばして入学式を迎えました。私は、入学の宣誓を行い、学校長先生の前でとても緊張しましたが、新入生代表として堂々とした姿を見せることができたと思います。不安に思うことはたくさんありますが、自分の足で一歩一歩確実に看護の道へ邁進（まいしん）することを決意し、これから努力していきたいです。

現在、昨年に続き新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、安全のために制限される行動が多々ありますが、感染症について学び、今だからこそ明るく前向きな気持ちで生活や勉学に励み、また看護学生として適切な責任ある行動を心掛けて、それぞれが思い描く“理想の看護師像”に近づけるように努力していきたいと思います。

入学宣誓書への署名

入学式の場面

安全・安心を提供できる助産師になるために

■助産学科第11期生　上田　千尋

私たち助産学科第11期生12名は助産師になるために令和3年4月9日に入学しました。助産師は、母子の命を預かる責任ある職業であり、覚悟を持って入学してきました。1年という短い期間のために、入学後すぐにガウンテクニックや導尿の技術練習があったり、より専門的なことを学んだりする中で、助産の難しさや厳しさを実感しています。初めは戸惑いや不安を感じていましたが、できることが少しずつ増え、自分でも成長を感じています。私たちは12名という少ない人数ですが、「全集中」というクラス目標を立て、それぞれが一生懸命に努力することでお互いの士気を高め、鼓舞し合いながら学習に取り組むことができています。

まだ、入学したばかりですが、日々学習し知識や技術を身に付けることで判断力を養い、母子の健康や安全を守れるよう、一人一人が責任を持って必要な援助をしていきたいです。また、対象の方に安心感を与えられるよう個別性のある丁寧な援助ができる助産師を目指したいと思います。命の誕生の瞬間に関わらせていただくということが、尊く貴重なことであることを忘れず、感謝の気持ちをもって対象の方と関わっていきたいと思います。

環境整備室だより

■環境整備室長　太田　徹哉

本館2階　外来待合ホール

Before　　After

整理された掲示板

案内掲示物の撤去

皆様、岡山医療センターに環境整備室が設置されているのをご存知でしょうか？

環境整備室は、院内・敷地内のあらゆる環境の整備を推進することを目的に2007年に設立されました。2019年度に一旦休止状態となりましたが、院内の環境を職種横断的に改善していくために、2020年度中期より活動を再開いたしました。

まず手始めに行ったのが、院内掲示物の整理です。2020年度前半には様々な掲示物が院内に所狭しと貼られていました。新型コロナウイルス感染対策の案内など、病院側からお知らせすべき事が多かったのもありますが、患者さん側からすると、必要な情報を見つけにくい状況になっていました。そのため、環境整備室員にて院内ラウンドを行い、掲示物の中でお知らせ期限が過ぎたり、重複したりしているものを順次撤去しました。そして、患者さんの動線に従い、歩いていて見つけやすいサインボードや、待合で座っていて目に入りやすいお知らせなどを目的別に分類し、目線にあった高さと間隔を考慮して掲示し直しました。また、電光掲示板などデジタルサイネージを活用し、短時間に多くの情報を得られるように配慮しました。左側のBeforeと右側のAfterの写真より、病院玄関から外来までの空間が幾分スッキリとし、ご案内などの掲示物が見やすくなっている事がお分かりいただけると思います。

2021年度の活動目標は、１Ｆリハビリ室と食堂との間にある中庭の整備です。久保院長の肝煎にて、この中庭を公園化する計画を進めています。患者さん・職員ともに憩いの場となるよう、緑あふれる空間にできればと考えています。今後の展開にご期待ください。

たまには
クラシック
File 21

作品名：練習曲 作品2 第1番 嬰ハ短調，Etude, Op. 2 No. 1 in C sharp minor

作曲者：アレクサンドル・スクリャービン，Alexander Scriabin (1872-1915)

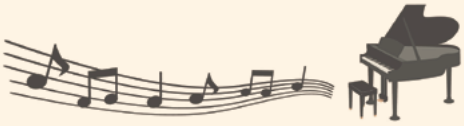
■クラシックソムリエ　米井　敏郎

スクリャービン

スクリャービンはロシアの生んだ作曲家，ピアニストです．自身が卓越したピアニストであったことから，ピアノ曲を数多く作曲しました．この練習曲 作品2 第1番 嬰ハ短調はスクリャービンが1887年，わずか14歳の時に作曲した作品です．「なんと不健康な中学生！」なのでしょう．練習曲の中では，22～23歳頃に作曲した作品8の第12番 嬰ニ短調の方が有名です．しかし，いくらショパンに感化されていたとはいえ，この嬰ハ短調の練習曲が14歳の少年の作品であることを考えると，とてつもない天才であり，驚嘆するしかありません．最初のフレーズを聴いただけでも，こんなやるせない想いを込めた旋律がどうして14歳の少年に作曲できたのか，その闇の深さに慄然とします．演奏時間わずか2～3分，長くても4分ほどの曲なのですが，短い時間の中に，人生の切なさが凝縮しているように思えます．作品2は3曲からなり，1番がこの練習曲，2番は前奏曲，3番は即興曲となっています．

さてお奨めのCDです．唯一無二で絶対に外せないのが，1. Vladimir Horowitz（ウラディミール ホロヴィッツ）(1903-1989)です．ホロヴィッツには何種類も録音がありますが，1965年のCBSへの録音と1985年のDGへの録音，それに1986年モスクワでのリサイタルの録音(DG)をお奨めします．このモスクワでのリサイタルの模様は"Horowitz in Moscow" と題したDVDでも視聴可能です．かつては超絶的なテクニックで世界を席巻したホロヴィッツが，齢（よわい）82歳にして1925年の米国への亡命から実におよそ61年ぶりに故国の地を踏んでのリサイタルであり，ホロヴィッツの万感の思いが涙を誘います．このリサイタルでは嬰ハ短調に続けて作品8の嬰ニ短調の練習曲も演奏されます．圧倒的な迫力で嬰ニ短調の練習曲を弾き終わるや否や，万雷の拍手を浴びます．モスクワの聴衆は感動を伝えるため，慎ましくもステージにお花を置いていきます．2. Anna Gourari（アンナ ゴウラリ）(1972-)，[2005年録音，Universal Music]，アンナ・ゴウラリは，タタールスタン共和国の首都カザン生まれのピアニストです．1994年の第1回 国際クララ・シューマン・ピアノコンクールで第1位になりました．彼女の演奏はリスナーの心に直接訴えてくるので，私の大好きなピアニストのひとりですが，何故か，日本ではあまり人気がありません．もっともっと聴かれてしかるべきピアニストだと思います．3. Khatia Buniatishvili（カティア ブニアティシヴィリ）(1987-)，[2013年録音，Sony]．カティア・ブニアティシヴィリは，ジョージア(旧グルジア)出身で，最近，大人気の美人ピアニストです．『マザーランド』(Motherland)と題したアルバムに収録されています．4. 小山実稚恵（こやまみちえ）(1959-)，[2004年録音，2011年録音，Sony]．小山実稚恵は，この曲を過去2回録音しています．演奏時間は1回目が3分22秒，2回目が3分7秒と，2回目の方が若干短くなっています．2回目の短い録音の方が，理由はよくわかりませんが，心にズシッと響きます．

さてYouTubeです．1. Gloria Campaner（グロリア カンパネル）(1986-)，グロリア・カンパネルはイタリアのヴェネチア生まれのピアニストです．この演奏は2015年7月，まるでプロモーション・ビデオのように作成されており，ピアノは直接音がリアルに捉えられており，ジャズの録音でよく耳にするような音に聞こえます．タイトルは，"Gloria Campaner Scriabin Etude Op 2 No 1 A film by Luca Scarzella" です．2. Khatia Buniatishvili（カティア ブニアティシヴィリ）(1987-)．カティアは，森の中でコンサートを行ってます．淡々としたドライな感じの演奏です．タイトルは，"Khatia Buniatishvili Scriabin Etude Op 2 No 1 in C sharp minor HD" です．これは，カティアが2013年に行った「森の中のコンサート」，タイトルは，"Khatia Buniatishvili - Das Waldkonzert 2013 HD" からの抜粋です．すばらしいコンサートですので是非とも全編を視聴していただけたらと思います．3. Vanessa Benelli Mosell（ヴァネッサ ベネッリ モーゼル）(1987-)，ヴァネッサ・ベネッリ・モーゼルはイタリア出身のピアニストです．2015年9月30日のリサイタル映像です．凄い新人が出てきました．タイトルは，"Vanessa Benelli Mosell in Etude Op 2 No 1 di Alexander Scriabin" です．この映像の画質自体はあまりきれいではありませんが，このピアニストの演奏する映像は，他にも数多くアップされています．まずは聴いてみてください．本当に凄いんです．



青山こどもクリニック

■院長　青山　興司
診療科／小児科、小児外科、小児泌尿器科

クリニックの特徴を教えてください。

2016.12.5 岡山駅から車で15分の岡山市北区田中に「青山こどもクリニック」を開設しました。以後ーこどもにやさしいクリニックを目指してーを理念として365日オープンの診療を行っています。診療科は小児科・小児外科・小児泌尿器科で３名の医師が勤務しています。職員が楽しく働くためには職員の生活安定は重要な要素と考え、職員12名は全員常勤（1名子育て中で非常勤）です。また、働くお母さんの為に時々職員のこども達をクリニックに招いて一緒に楽しい時間を過ごすイベントを行っています。

金谷医師は小児アレルギー・感染症を主に、山田医師は小児総合医として全ての小児疾患の診療を、青山医師は小児外科・小児泌尿器科を主に診療しています。特殊外来として小児科においては舌下療法を含むアレルギー免疫療法を行っています。外科では便秘外来、夜尿外来を行っています。岡山県には小児外科・小児泌尿器科を標榜したクリニックがないためか開院以来４年間の新患数では便秘は1,500名を超え、夜尿は400名を超えました。その他の新患では陰茎異常が900名、臍ヘルニアが650名と上位を占めています。

クリニックでは開設以来、岡山医療センターとの良好な病診連携を維持して来ました。金谷・青山医師は週1回岡山医療センターで外来診療を行い、地域連携の一環として、紹介患者が岡山医療センターに入院した場合は医師の患者訪問を常としています。

昨年の１年間（2020.4.1-2021.3.31）の岡山医療センターへの小児の紹介患者数は212例（そのうち入院は111例（52%））でした。その内訳は、小児科への紹介は79例（そのうち入院34名（43%））、小児外科への紹介は104例（そのうち入院75名（72%））、その他の科への紹介が29名でした。紹介したほとんどの患者さんが“入院して良かった”という評価をして帰院してくださり、岡山医療センターのスタッフの方々に大変感謝しております。

今後、地域のこどもたちが快適に過ごせるように役立つクリニックを目指すと共にこどもたちの健やかな成長のためにも、１日でも早くマスクを取り大声で語れる日が来る事を切に祈っています。

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
9：00〜12：00	○	○	○	○	○	○	○
14：30〜16：00	乳児健診 予防接種	乳児健診 予防接種	—	乳児健診 予防接種	乳児健診 予防接種	14:00〜17:00 ○	—
16：00〜19：00	○	○	○	○	○		—

住　　所■〒700-0951 岡山県岡山市北区田中625- 8
電話番号■086-246-3650
ホームページ■https://www.aoyamakodomo.net/
アクセス■北長瀬駅から車で5分
岡電バス御南中学校入口下車、徒歩3分
岡電バス平田口下車、徒歩5分
駐 車 場■20台（無料）

岡山医療センター分院　金川病院だより

■金川病院　庶務係長　高橋　信夫

コロナワクチン接種について

金川病院では５月17日から、当院かかりつけの高齢者に対してコロナワクチンの接種（一回目）を開始しました。

今回のように大規模な予防接種は初めての経験のため、病院としても手探りの状態からのスタートとなりました。

特に予約受付開始時は想定を超える件数の問い合わせがあり、予約日のお知らせまで時間がかかり、患者さんにご心配をかけることもありましたが、接種は順調に行われています。

接種を受ける際に、予診票の事前の記入や腕を出しやすい服装など高齢者の方にも協力をいただき、受付→問診→注射とスムーズに実施できています。

地域の高齢者のなかには岡山市中心部の集団接種会場まで行くことが困難な方も多くいるため、できるだけ地元でワクチンを打てるよう医師をはじめ病院スタッフ一同、環境を整えてまいります。

接種前の医師による問診

レストランとパン屋が変わりました!

SMILE DINING(スマイル・ダイニング)

『SMILE　DINING』(スマイル・ダイニング)は、「お客様の健康を第一に考え、体にやさしい食の提供、食を通じ、患者さん・お客様・職員の皆様を応援し、社会に貢献する。いつも笑顔でお出迎え、そして、お客様の笑顔がスタッフの心の栄養。そんな、笑顔あふれる空間を目指します。」

メニューは、日替りランチ2種類を中心に、各種定食・麺類・丼物とバラエティー豊かにご用意しております。栄養士が毎日、栄養バランスを考え献立を作成しております。調理に関しては、厚生労働省の「大量調理施設衛生管理マニュアル」に従い安心安全な食の提供を行っております。運営事業者の大惣㈱は、総社市で長年地元に根ざし、産業給食・仕出し料理を中心に多くのお客様にご利用いただいております。スマイルダイニングでは岡山の食材・調味料を多く使用し、地産地消にも取り組んでまいります。

今後は、米吾の山陰名物「吾左衛門鮨」(鯖寿司)をとり入れたメニューも展開いたします。ご意見ご要望をお聞きしながら、喜んでいただける食堂運営を目指しておりますので、多くのご利用をお待ちしております。

石窯パン工房 麦のひげ

『石窯パン工房　麦のひげ』は、岡山で美味しいと評判の人気のパン屋さんです。スペイン製の大きな石窯で焼きあげたパンは「外はパリッと、中はふわっと」、原材料から製法まできちんとこだわったパンづくりをしています。

麦のひげのこだわりは、2007年開店時におこした自家培養天然酵母です。天然酵母ならではの深みのある味わいの生地により、独特の酸味やモチモチとした食感が楽しめます。食材は地元岡山産のフルーツ・野菜と世界中の高品質な食材をとことん探し、納得できたものだけを使っています。パンの具材もしっかり手間をかけて手作りします。例えばカレーパンのカレーは、しっかり焼いて肉汁を閉じ込めた牛肉をワインと野菜でじっくり煮込んでいます。「選ぶ」「見つける」楽しさを感じていただきたい想いから、多品種・季節メニューを充実してまいります。

毎日赤磐店・津高店の石窯で焼き上げたパンと、岡山医療センター店の工房内で作った焼きたてパンを販売いたします。美味しくて生きる糧になるパンをお届けいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

表紙写真●左列上から　1. アフリカゾウ　2. ミーアキャット　3. カバ　4. ホッキョクグマ(サスカッチ)　中央　5. ニシゴリラ(シャバーニ)　右列上から下へ　6. インドサイ　7. ライオン　8. アミメキリン　9. ビントロング　名古屋市東山動植物園(1, 3, 4, 5, 6, 7)　高知県立のいち動物公園(2, 8, 9)

編集後記

岡山医療センターの広報誌”ザ・ジャーナル”をお読みいただき誠にありがとうございます。今回表紙を飾った動物達、目が輝きバイタリティが溢れています。コロナ禍で落ち込み気味な日々でしたが元気を貰えました! これからじわじわと暑くなってきます。どうぞ皆様、ご自愛くださいませ。

また、4月より地域医療連携室の室員が交代いたしました。前方連携(事務)は高橋から宮内へ、後方連携(退院調整看護師)は黒原から成瀬へ となりました。今後ともよろしくお願いいたします!

■医療広報推進室(地域医療連携係)　宮内　京佐

広報第16巻　第1号　令和3年6月26日発行(年4回発行)　発行責任者／久保俊英　編集責任者／平見有二　独立行政法人 国立病院機構岡山医療センター 医療広報推進室
〒701-1192 岡山市北区田益1711-1　TEL 086-294-9911　FAX 086-294-9255　URL https://okayama.hosp.go.jp/　E-mail 504-info@mail.hosp.go.jp　印刷:(株)中野コロタイプ